

第5学年 算数科 指導計画・評価規準

江戸川区立一之江小学校

単元名	学びのとびら			教科書のページ	上 p.2～7
配当時数	1 時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要領の内容	第4学年の内容

目標	時数	学習活動
・「もくじ」「授業のページ」「算数マイノートをつくろう」「新しい算数を使った学習の進め方」のページを使って、教科書の使い方や算数科の学び方、問題解決の方法を共有し、子どもたちが自ら教科書を有効に活用して、主体的、対話的で深い学びを実現できるようにする。 上 p.2～7	1	①「もくじ」(5分) 表紙裏～p.1 ・「前の学習」や「後の学習」が示されていることに触れ、算数の学習はこれまでの学習をもとに積み上げられていること、以後の学習へつながることに気づかせる。 - また、p.1 下欄を見て、前学年までに働かせ、成長してきた数学的な見方・考え方を想起させる。 ・表紙裏ページを見て、デジタルコンテンツが設定されていることやその使用方法、使用上の留意点に触れる。 ②「授業のページ」(30分) p.2～3 ・前学年までの学習で解決できる問題について、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を実際に遂行することを通して、算数科における学び方や問題解決の方法を認識させる。 ③「算数マイノートをつくろう」(7分) p.4～5 ・「授業のページ」におけるノートの例を参考にしながら、ノートのつくり方を学級で共有する。 ④「新しい算数を使った学習の進め方」(3分) p.6～7 ・教科書の構成や記号の意味について調べたいときには、随時本ページを見るとよいことを伝える。 ・巻末にはオプション教材集「新しい算数 プラス」が設定されていること、その中の「ほじゅうのもんだい」(補充問題)、「ふりかえりコーナー」(知識のふりかえり)、「おもしろもんだいにチャレンジ」(数学の世界での発展)があることを紹介し、適宜活用するとよいことを知らせる。 ※「指導者・保護者のみなさまへ」について これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え、子どもたちに学習習慣(特に家庭での自学自習)を身に付けるためには保護者の理解・協力が必須であると考え掲載したものである。保護者の方々との連携を図りながら、教科書を有効に活用していただきたい。

単元名	1. 整数と小数のしくみをまとめよう [整数と小数]			教科書の ページ	上 p.8～15, 142
配当時数	5 時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要 領の内容	A(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		整数及び小数の表し方についての理解を深め、数学的表現を適切に活用して数の表し方の仕組みを考える力を養うとともに、十進数としての特徴を統合的に捉えようとしたり、そのよさに気づき今後の生活や学習に生かそうとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	整数及び小数について、10 倍、100 倍、1000 倍 (1/10, 1/100, 1/1000) したときの位や小数点の移動の仕方を理解し、それらの大きさの数をつることができる。
	思考・判断・表現	数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合的にとらえるとともに、十進位取り記数法をもとに図や式を用いて計算の仕方を考え表現している。
	主体的に学習に 取り組む態度	整数及び小数の十進数としての特徴について統合的に捉えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 整数と小数 上 p.8～13 4 時間			
[プロローグ] 上 p.8	1	①p.8 を見て、5 円玉 1 枚の重さを表す数 3.75 はどんな数といえるかを振り返るとともに、整数と小数の仕組みについてまとめるといふ単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・ 整数と小数は十進位取り記数法で表され、0 から 9 までの数字と小数点を使うと、どんな大きさの整数や小数でも表せることを考え、表し方を説明することができる。 上 p.9～10		①徳本峠の高さ 2135m とハンマー投げの投げるサークルの直径 2.135m の数を比べて、それぞれの位の数字の表す大きさを調べる。 ②整数や小数では、0 から 9 までの数字の書かれた位置で何の位かが決まり、各位の数字は、その位の数が何こあるかを表していることをまとめる。 ③0 から 9 までの数字と小数点を使って、いろいろな大きさの数を表す。 ④数の構成を式に表す。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・ 小数の相対的な大きさを考え、1, 3, 4, 5, 8 の数字と小数点を使っていろいろな小数をつくることを通して、十進位取り記数法のしくみを確認する。 上 p.11	1	①2.135 は 0.001 の何こ分か考える。 ②1, 3, 4, 5, 8 の数字と小数点を使って、いろいろな小数をつくる。	[思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・ 整数や小数を 10 倍, 100 倍, …すると, 位はそれぞれ 1 桁, 2 桁, …上がり, 小数点は右に 1 桁, 2 桁, …移動することを理解する。 上 p.12	1	①2.98 を 10 倍, 100 倍, 1000 倍したときの数を求める。 ②2.98 を 10 倍, 100 倍, 1000 倍したときの位の変わり方を調べる。 ③2.98 を 10 倍, 100 倍, 1000 倍したときの小数点の位置の移り方を調べる。 ④小数を 10 倍, 100 倍, 1000 倍したときの位の上がり方と小数点の位置の移り方をまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 整数や小数を $1/10$, $1/100$, …にすると, 位はそれぞれ 1 桁, 2 桁, …下がり, 小数点は左に 1 桁, 2 桁, …移動することを図や式を用いて考え, 説明することができる。 上 p.13	1	①634 を $1/10$, $1/100$, $1/1000$ にしたときの数を求める。 ②634 を $1/10$, $1/100$, $1/1000$ にしたときの位の変わり方を調べる。 ③小数を $1/10$, $1/100$, $1/1000$ にしたときの小数点の位置の移り方を調べる。 ④小数を $1/10$, $1/100$, $1/1000$ にしたときの位の下がり方と小数点の位置の移り方をまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 上 p.14~15, 142 1 時間			
・ 学習内容の定着を確認するとともに, 数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上 p.14~15	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・【発展】巻末 p.142 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み, 単元の学習内容を基に整数と小数の仕組みについて理解を深める。			

単元名	2. 直方体や立方体のかさの表し方を考えよう [直方体や立方体の体積]			教科書のページ	上 p.16～31, 143
配当時数	8 時間	活動時期	4 月下旬～ 5 月上旬	学習指導要領の内容	B(4)ア(7)(イ), イ(7)

単元の目標		立体の体積について理解し、立体を構成する要素に着目して体積の求め方を考える力を養うとともに、体積の求め方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	体積の単位を知り、立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。
	思考・判断・表現	体積の単位や立体を構成する要素に着目し、立体の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を統合的に捉え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	立体の体積の単位や体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) もののかさの表し方 上 p.16～25 5 時間		★他教科との関連: 英語	
[プロローグ] 上 p.16	1	①p.16 の展開図を見て、縦、横、高さがどんな長さの直方体や立方体ができ、また、どちらの体積が大きいかを予想する活動を通して、体積のイメージをつくるとともに、直方体や立方体の体積の表し方を考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
		①P.16 の展開図を実際にかいて組み立て、どちらの体積が大きいかを予想する。	[思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察
・「体積」の意味や体積を表す単位「立方センチメートル(cm^3)」について理解する。 上 p.17～18	1	①長さや面積の学習を基に、直方体と立方体の大きさの比べ方を考える。 ②1 辺が 1cm の立方体の積み木で直方体や立方体の大きさを調べる。 ③1 辺が 1cm の立方体の積み木の数で直方体と立方体の大きさを表す。 ④用語「体積」、体積の単位「立方センチメートル」を知る。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録
・直方体、立方体の体積を求める公式を理解し、公式を適用して体積を求めることができる。 ・単位となる体積を用いて、直方体や立方体の体積の求め方を考え、説明することができる。 上 p.19～20	1	①縦 4cm、横 6cm、高さ 5cm の直方体と 1 辺 5cm の立方体の体積を計算で求める方法を考える。 ②それぞれ 1cm^3 の立方体の何こ分か調べる。 ③直方体、立方体の体積を求める公式をまとめる。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録
	1	①直方体や立方体の体積を、公式を使って求める。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
[今日の深い学び] ・直方体を組み合わせた立体の体積の求め方を、図形の特徴を基にして考え、説明することができる。 上 p.21～25	1	①直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を工夫しながら多様に考え、図や式を使って表す。 ②他者の考えを読み取り、図や式に表す。 ③直方体を組み合わせた立体の体積は、直方体や立方体を基にして考えると求められることをまとめる。 *デジタルコンテンツ設定有	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(2) いろいろな体積の単位 上 p.26～29 2 時間			
・体積を表す単位「立方メートル(m^3)」や、$1\text{m}^3=1000000\text{cm}^3$の関係について理解する。 上 p.26～27	1	①体積の単位「立方メートル」を知り、縦 3m、横 4m、高さ 2m の直方体の体積を求める。 ②$1\text{m}^3$は何 cm^3か調べ、$1\text{m}^3=1000000\text{cm}^3$の関係をまとめる。 ③$1\text{m}^3$の立方体を作り、$1\text{m}^3$の体積を実感する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・「内のり」「容積」の意味や容積の求め方、$1\text{L}=1000\text{cm}^3$の関係について理解する。 ・体積の単位と長さや面積の単位との関係を、もとにする長さを基にして考え、説明することができる。 上 p.27～29	1	①縦、横、深さが 10cm の 1L のますに入る水の体積を考える。 ②用語「内のり」「容積」の意味を知る。 ③$1\text{L}=1000\text{cm}^3$の関係をもとに、$1\text{mL}=1\text{cm}^3$、$1\text{kL}=1\text{m}^3$の関係を調べる。 ④長さ、面積、体積の単位を、表にまとめて整理し、単位間の関係を調べる。 ⑤「ますりん通信」を読み、複雑な形のものでも水の中に入れることによって、その体積がはかれることを理解する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 上 p.30～31, 143 1 時間			
・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上 p.30～31	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・【発展】巻末 p.143 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み、単元の学習内容を基に容積について理解を深める。			

単元名	3. 変わり方を調べよう(1) [比例]			教科書のページ	上 p.32～38
配当時数	4 時間	活動時期	5 月中旬	学習指導要領の内容	C(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる 2 つの数量やそれらの関係を表を用いて考える力を養うとともに、伴って変わる 2 つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見いだすことができる。
	思考・判断・表現	伴って変わる 2 つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係を捉え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 比例 上 p.32～37 3 時間			
[プロローグ] 上 p.32	1	①いろいろな場合の伴って変わる 2 つの数量について、その変わり方を考えるとともに、伴って変わる 2 つの数量の変化や対応の特徴を考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・「比例」の関係について理解する。 上 p.33～34		①底面を固定して、直方体の高さを 2 倍、3 倍、…にすると、体積はどのように変わるかを調べる。 * デジタルコンテンツ設定有 ②用語「比例」の意味を知る。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
・比例の関係を使って、表にない部分の体積の求め方を考え、説明することができる。 上 p.34～35	1	①高さが 30cm のときの直方体の体積について、比例の関係を使った求め方を考える。 ②適用問題に取り組み、表から比例の関係を判断する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・数直線が比例の関係を表していることを理解し、数直線を活用して問題を解決することができる。 ・リボンを買う長さや代金という既習場面を比例の関係ととらえ、比例の関係を表した数直線を用いて、式の立て方や答えの求め方を考え、説明することができる。 上 p.36～37	1	①リボンを買う長さを 2 倍、3 倍、…にすると、代金はどのように変わるかを調べ、代金は長さに比例することをまとめる。 ②②の数直線や p.148～149 を参照し、比例の関係は数直線でも表せることを確認する。 ③数直線に表された比例の関係をを使って、問題を解決する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
まとめ 上 p.38 1 時間			
単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 上 p.38	1	[いかしてみよう] ①比例の関係を活用して階段の段数から床の高さを求める問題に取り組む。	[思判表]発言・記録

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.39
配当時数	—	活動時期	5 月中旬	学習指導要領の内容	—

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
既習内容の理解を確認する。 上 p.39	—	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]発言・行動観察

単元名	4. かけ算の世界を広げよう [小数のかけ算]			教科書のページ	上 p.40～51, 144
配当時数	9 時間	活動時期	5 月中旬～ 6 月上旬	学習指導要領の内容	A(3)ア(7)(イ)(ウ), イ(7)(6)

単元の目標		乗数が小数の場合の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を乗法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、乗法の意味を捉え直したり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	乗数が小数の場合の乗法の意味や、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算ができる。
	思考・判断・表現	乗法の意味に着目し、乗法の性質を活用して、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	乗数が小数の場合の乗法の意味を捉え直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 小数のかけ算 上 p.40～49 8 時間			
[プロローグ] 上 p.40	1	①かけ算についてこれまで学習してきたことを振り返り話し合うことを通して、乗数が小数の場合のかけ算について考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・ 小数をかけることの意味を図や式を用いて考え、説明することができる。 上 p.41～42		①自分の考えで立式する。 ②その式になる理由を、数直線や言葉の式などを用いて考え、説明する。 ③「1 とみたとき、○にあたる」という既習の倍の見方を活用して、乗法の意味を捉え直す。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・ 整数×小数の計算の仕方を、数直線を用いて考え、説明することができる。 上 p.43～44	1	① 80×2.3 の計算の仕方を考える。 ② 80×2.3 の計算の仕方をまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 小数×小数の計算の仕方を、乗法の性質をもとに考え、説明することができる。 上 p.44～45	1	①立式を考える。 ②乗法の性質を活用して、 2.14×3.8 の計算の仕方を考える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 小数×小数の筆算の仕方を理解し、答えを求めることができる。 上 p.45～46	1	①小数×小数の筆算の仕方をまとめる。 ②練習問題に取り組む。 * デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 小数×小数の筆算（末尾の 0 を処理したり、0 を補ったりする場合）の仕方を理解し、答えを求めることができる。 上 p.46	1	① 4.92×7.5 , 0.18×3.4 の筆算の仕方を考える。 ②練習問題に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
純小数をかけると、積は被乗数より小さくなることを理解し、説明することができる。 上 p.47	1	① 400×1.3 と 400×0.6 の計算をして、積と被乗数の大きさを比べる。 ② 純小数をかけると、積が被乗数より小さくなることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
長方形や直方体の辺の長さが小数の場合も、面積や体積の公式を適用できることを理解し、説明することができる。 上 p.48	1	① 縦 2.3cm, 横 3.6cm の長方形の面積の求め方を考える。 ② 長方形の中に、1 辺が 1mm の正方形が何個あるかを調べてから 2.3×3.6 の計算で求める。 ③ 縦 0.8m, 横 1.2m, 高さ 0.7m の直方体の体積の求め方を考える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
整数について成り立つ交換, 結合, 分配法則は、小数の場合でも成り立つことを帰納的に考え、説明することができる。 上 p.49	1	① $\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$, $(\blacksquare \times \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet \times \blacktriangle)$, $(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$, $(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$ 小数をあてはめ、式が成り立つか調べる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
まとめ 上 p.50～51, 144 1 時間			
学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上 p.50～51	1	① 「たしかめよう」に取り組む。 ② 「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
【発展】巻末 p.144 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み、学習内容を基に小数の乘法について理解を深める。			

単元名	5. わり算の世界を広げよう [小数のわり算]			教科書のページ	上 p.52～63, 144
配当時数	9 時間	活動時期	6 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	A(3)ア(7)(イ)(ウ), イ(7)

単元の目標		除数が小数の場合の除法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、除法の意味を捉え直したり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	除数が小数の場合の除法の意味について理解するとともに、除数が小数の場合の除法の計算ができる。
	思考・判断・表現	除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	除数が小数の場合の除法の意味を捉え直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 小数のわり算 上 p.52～61 8 時間			
[プロローグ] 上 p.52	1	①わり算についてこれまで学習してきたことを振り返り話し合うことを通して、除数が小数の場合のわり算について考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・小数でわることを意味を図や式を用いて考え、説明することができる。 上 p.53～54		①自分の考えで立式する。 ②その式になる理由を、数直線や言葉の式などを用いて考え、説明する。 ③「1 とみたとき、〇にあたる」という既習の倍の見方を活用して、除法の意味を捉え直す。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・整数÷小数の計算の仕方を、数直線を用いて考え、説明することができる。 上 p.55～56	1	① $300 \div 2.5$ の計算の仕方を考える。 ② $300 \div 2.5$ の計算の仕方をまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・小数÷小数の計算の仕方を、除法の性質をもとに考え、説明することができる。 上 p.56～57	1	①立式を考える。 ②除法の性質を活用して、 $7.56 \div 6.3$ の計算の仕方を考える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・小数÷小数の筆算の仕方を理解し、答えを求めることができる。 上 p.57～58	1	①小数÷小数の筆算の仕方をまとめる。 ②練習問題に取り組む。 * デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・小数÷小数の筆算(商が純小数の場合、被除数に 0 を補う場合)の仕方を理解し、答えを求めることができる。 上 p.58	1	① $2.34 \div 3.9$, $1.8 \div 2.4$, $8 \div 2.5$ の筆算の仕方を考える。 ②練習問題に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
純小数でわると、商は被除数より大きくなることを理解し、説明することができる。 上 p.59	1	① $240 \div 1.2$ と $240 \div 0.8$ の計算をして、商と被除数の大きさを比べる。 ② 純小数でわると、商が被除数より大きくなることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
小数の除法での余りの意味を理解し、余りを求めることができる。 上 p.60	1	① 2.5m のリボンを、1 人に 0.7m ずつ配ると何人に配れて、リボンはどれだけ余るかを考える。 ② 小数の除法の、余りの小数点をうつ位置についてまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
小数の除法で商を概数で求めるときの処理の仕方を理解し、商を概数で表すことができる。 上 p.61	1	① 1.5L の砂の重さが 2.5kg のときの、1L の砂の重さは何kgか考える。 ② わり切れないときの商の表し方について考え、上から 2 桁の概数で求める。 ③ わり算でわり切れないときや商の桁数が多いときなどに、商を概数で表すことがあることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
まとめ 上 p.62～63, 144 1 時間			
学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上 p.62～63	1	① 「たしかめよう」に取り組む。 ② 「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
【発展】巻末 p.144 の「おもしろ問題にチャレンジ！」に取り組み、学習内容を基に小数の除法について理解を深める。			

単元名	小数の倍			教科書のページ	上 p.64～69
配当時数	5 時間	活動時期	6 月下旬	学習指導要領の内容	A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)

単元の目標		既習の倍の意味をもとに基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について理解し、倍の意味を図や式を用いて考える力を養うとともに、整数と小数の倍の意味を統合的に捉えたりこれまでの倍の学習を生活や学習に生かそうとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について理解し、説明している。
	思考・判断・表現	2 量の関係に着目し、基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について、整数倍の意味と統合的に捉えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 小数の倍 上 p.64～69 5 時間			
・ 2 量の関係について、基準量を変えると倍を表す数が変わることをおさえ、倍の意味の理解を深める。 上 p.64～65	1	① [プロローグ] 差や倍で大きさを比べてきた既習を振り返り、倍の意味を確認する。 ② 赤のリボンと青のリボンの関係について、基準量を変えて倍で表す。 ③ 基準量を変えると倍を表す数が変わることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 比較量、基準量が小数の場合も、倍を求めるときは除法を用いればよいことを、図や式を用いて考え、説明することができる。 上 p.66	1	① 4.8km, 3.6km, 1.8km は 2.4km の何倍か ($2.4 \times \square$) を求める方法を図や式を用いて考える。 ② 比較量、基準量が小数の場合でも倍を求めるには除法を使うことをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 小数倍の意味について、図や式を用いて考え説明し、倍の意味の理解を深める。 上 p.67	1	① 5m の 3 倍, 3.5 倍, 0.6 倍の長さを求める。 ② 倍を表す式の意味を、図や式を用いて考え、説明する。 ③ 整数倍と小数倍の倍の意味を統合的に捉える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 倍を表す数が小数の場合も基準量を求めるときは $\square$ を用いて乗法の式に表して考えればよいことを、図や式を用いて説明することができる。 上 p.68	1	① 630g が基準量の 1.8 倍にあたる時の、基準量の求め方を考える。 ② 倍を表す数が小数の場合も、基準量を求めるには、 $\square$ を使って乗法の式に表して考えればよいことをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 倍を表す数が小数の場合も倍を使った比較の仕方を考え、説明することができる。 上 p.69	1	① $110 \div 160$, $150 \div 200$ の計算をして、値段の上がり方を、倍を使って比べる。 ② 倍を表す数が小数の場合も、倍を使って比較できることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録

単元名	どんな計算になるのかな？			教科書の ページ	上 p.70
配当時数	2 時間	活動時期	6 月下旬	学習指導要 領の内容	A(3)

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
小数の乗法や除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を高める。 上 p.70	2	①図や問題文を読み，それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	上 p.71
配当時数	—	活動時期	6 月下旬	学習指導要 領の内容	—

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
既習内容の理解を確認する。 上 p.71	—	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]発言・行動観察

単元名	6. 形も大きさも同じ図形を調べよう [合同な図形]			教科書の ページ	上 p.72～83, 144
配当時間	8 時間	活動時期	7 月上旬～中旬	学習指導要 領の内容	B(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目して図形の性質について考える力を養うとともに、図形を合同という観点で考察した過程を振り返り、合同の観点から既習の図形を捉え直したり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解するとともに、合同な図形を弁別したりかいたりすることができる。
	思考・判断・表現	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、合同な図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	合同という観点で既習の図形の性質を見直したり、対角線に着目して合同な図形を捉えたりしたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 合同な図形 上 p.72～81 7 時間			
[プロローグ] 上 p.72	1	①p.72 の写真を見て、ぴったり重なる理由についての話し合いを通して、形も大きさも同じ図形（合同な図形）を調べるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・「合同」の意味について理解する。 上 p.73～74		①与えられた三角形、四角形と形も大きさも同じ図形を見つける。 ②用語「合同」の意味を知る。 ③四角形を裏返して重ね合わせるができるかどうかを調べる。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
・頂点、辺、角について「対応する」の意味を知り、合同な図形の性質について理解する。 上 p.74～75	1	①合同な図形について、重なり合う辺、角、頂点を調べる。 ②用語「対応する」の意味を知る。 ③合同な図形の性質をまとめ、それを用いて合同かどうかを判別する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・四角形を対角線で分割してできた三角形が合同であるかどうかを調べ、既習の図形を合同の観点で捉え直す。 上 p.76	1	①台形や平行四辺形など、これまで学習した四角形を 1 本の対角線で分割すると、どのような三角形ができるか考える。 ②分割してできた三角形について、合同であるかどうか調べる。 ③同じようにして、2 本の対角線で分割したときの三角形について、合同であるかどうか調べる。 ④既習の四角形の中には、合同な三角形を組み合わせてできた形があることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
- 合同な三角形のかき方を考え、説明することができる。 - 合同な三角形のかき方を理解し、合同な三角形をかくことができる。 上 p.77～79	1	①三角形の構成要素に着目して、合同な三角形のかき方を考える。 ②頂点 A の位置の決め方について考える。	[思判表]発言・記録
	1	①二辺夾角，二角夾辺，三辺のかき方で合同な三角形をかく。 ②それぞれのかき方でどの辺や角を使っているかを整理し，すべての構成要素を使わなくても合同な三角形がかけられることをおさえる。 ③合同な三角形のかき方をまとめる。 *デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
合同な三角形のかき方を理解し，かくことができる。 上 p.80	1	①練習問題に取り組む。	[知技]発言・行動観察
合同な三角形のかき方を活用して，合同な平行四辺形のかき方を考え，説明することができる。 上 p.81	1	①合同な三角形のかき方を基に，合同な平行四辺形のかき方を考える。 ②三角形の場合と異なり，4 つの辺の長さだけでは，形が決まらずかけないことを知る。 ③対角線で 2 つの三角形に分けると，合同な平行四辺形をかくことができることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 上 p.82～83, 144 1 時間			
学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上 p.82～83	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
【発展】巻末 p.144 の「おもしろ問題にチャレンジ！」に取り組み，学習内容を基に合同な図形について理解を深める。			

単元名	7. 図形の角を調べよう [図形の角]			教科書のページ	上 p.84～95, 145
配当時数	6 時間	活動時期	9 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	B(1)ア(イ), イ(ア) 内容の取扱い(2)

単元の目標		三角形や四角形の内角の和について理解し、それを用いて多角形の角の性質を考える力を養うとともに、機能的及び演繹的に考えるよさに気づき、今後の生活や学習に生かそうとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	三角形の内角の和について理解し、それを基に四角形や他の多角形の内角の和を求めることができる。
	思考・判断・表現	図形の角に着目し、三角形の内角の和についての性質を見だし、それを基に四角形や他の多角形の内角の和について演繹的に考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	三角形の内角の和が 180° であること基に、四角形や他の多角形の性質を考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 三角形と四角形の角 上 p.84～92 4 時間			
[プロローグ] 上 p.84	1	①p.84 の円の半径を使ったいろいろな二等辺三角形を見て、3 つの角の大きさの関係について関心を持ち話し合うことを通して、図形の角を調べるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
- 三角形の角の大きさについて調べ、内角の和の性質を見だし、説明することができる。 - 三角形の内角の和は 180° であることを理解し、計算で三角形の角の大きさを求めることができる。 上 p.85～86	1	①㊶～㊸の二等辺三角形を基に、三角形の 3 つの角の大きさのきまりを調べる。 ②㊶～㊸の二等辺三角形では 3 つの角の大きさの和が 180° であることを確認し、他の三角形についての見通しをもつ。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
	1	①いろいろな三角形について、3 つの角の大きさの和が 180° になることを確認する。 ②三角形の内角の和が 180° になることを活用して、三角形のいろいろな角度を計算で求める。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
[今日の深い学び] 三角形の内角の和を基にして、四角形の内角の和を考え、説明することができる。 上 p.87～91	1	①角度をはからないで、四角形の 4 つの内角の和を求める方法を考え、図や式を使って表す。 ②他者の考えを読み取り、図や式に表す。 ③四角形を三角形に分けて考えると、四角形の内角の和は 360° になることをまとめる。 *デジタルコンテンツ設定有	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・「多角形」を知り，多角形の 内角の和の求め方を考え，説 明することができる。 上 p.92	1	①「五角形」「六角形」「多角形」の意味 を理解する。 ②五角形，六角形の内角の和を三角形に 分けて調べ，多角形の内角の和につい て表にまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
(2) しきつめ 上 p.93 1 時間			
・四角形が敷き詰められる理 由を考え，内角の和を基にし て説明することができる。 上 p.93	1	①折り込みにある一般四角形の同じ図形 を並べて，すきまなく敷き詰める。 ②形も大きさも同じ四角形が敷き詰め られる理由を考える。 ③4 つの角を 1 つの点に集めれば，敷き 詰められることをまとめる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
まとめ 上 p.94～95, 145 1 時間			
・学習内容の定着を確認する とともに，数学的な見方・考 え方を振り返り価値づける。 上 p.94～95	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り 組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・【発展】巻末 p.145 の「おもしろ問題にチャレンジ！」に取り組む，学習内容を基に合同な図形や内角の 和について理解を深める。			

単元名	8. 整数の性質を調べよう [偶数と奇数, 倍数と約数]			教科書の ページ	上 p.96～109, 146
配当時数	12 時間	活動時期	9 月中旬～下旬	学習指導要 領の内容	A(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(1)

単元の目標		偶数, 奇数及び倍数, 約数などについて知り, 整数の性質についての理解を深め, 観点を決めて整数を分類したり数の構成について考えたりする力を養うとともに, 整数を乗法や除法に着目して分類した過程を振り返り, そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	偶数, 奇数, 及び倍数, 約数について知り, それらの意味について理解するとともに, 偶数と奇数を分類したり倍数と約数を求めたりすることができる。
	思考・判断・表現	乗法及び除法に着目し, 整数を偶数と奇数の二つの集合に分類して捉えたり, 倍数と約数の集合を捉えたりするとともに, 整数の性質を図や式を用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	整数の性質について, 観点を決めて分類したり, 倍数と約数の集合を捉えたりした過程や結果を振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 偶数と奇数 上 p.96～99 3 時間			
[プロローグ] 上 p.96	1	①p.96 の数あてクイズをして, 整数を乗法や除法の結果として捉え話し合うことを通して, 整数の性質を調べるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10～15 分程度)	
・ 整数を 2 つの集合に分ける方法を考え, 説明することができる。 ・ 「偶数」「奇数」の意味や性質を知り, 整数は偶数と奇数に分類できることを理解する。 上 p.97～98	1	①p.97 を見て, あたりとはずれをどのように 2 つに分けているか調べる。 ②2 つに分けられた数の特徴を調べて, 整数の分け方を考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・ 偶数と奇数を式に表し, その性質を考え, 説明することができる。 上 p.99	1	①偶数と奇数を, それぞれ 2 でわったときの余りについて調べる。 ②用語「偶数」「奇数」の意味を知る。 ③偶数, 奇数はどのように並んでいるか調べる。 ④すべての整数は, 偶数と奇数に分けられることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・ 偶数と奇数を式に表し, その性質を考え, 説明することができる。 上 p.99	1	①偶数と奇数を, $2 \times \square$, $2 \times \square + 1$ の式に表し, 偶数と奇数の意味や性質を考える。 ②偶数は 2 に整数をかけた数とみられることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
(2) 倍数と公倍数 上 p.100～103 4 時間			
・ 「倍数」の意味について理解する。 上 p.100	1	①鉛筆とキャップの数が等しくなるのは何本のときか考える。 ②用語「倍数」を知る。 ③倍数の意味を確かめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・「公倍数」「最小公倍数」の意味について理解する。 上 p.101	1	①用語「公倍数」「最小公倍数」を知る。 ②公倍数の意味を確かめる。 ③数直線上でいろいろな数の公倍数を見つける。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・2つの数の公倍数は、最小公倍数の倍数になっていることを理解し、2つの数の公倍数を求めることができる。 上 p.102	1	①4と6の公倍数の求め方を考える。 ②公倍数は最小公倍数の倍数であることに気づき、公倍数の求め方に活用する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・2つの数の公倍数の求め方を活用して、3つの数の公倍数の求め方を考え、説明する。 上 p.103	1	①2と3と4の公倍数の求め方を考える。 ②2と3と4の公倍数は、最小公倍数の倍数になっているかを確認する。 * プログラミング体験ページ設定有 (p.126)	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
(3) 約数と公約数 上 p.104～106 3 時間			
・「約数」の意味について理解する。 上 p.104～105	1	①縦12 cm、横18 cmの長方形の中に合同な正方形を敷き詰めるとき、隙間なく敷き詰められるのは、1辺の長さが何cmの正方形のときか考える。 ②縦に隙間なく敷き詰められる場合を調べる。 ③用語「約数」を知る。 ④約数と倍数の関係をとらえる。 ⑤約数の性質(ある数を約数でわった商もまたある数の約数になる)を調べる。 ⑥横に隙間なく敷き詰められる場合を調べる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・「公約数」「最大公約数」の意味について理解する。 上 p.105	1	①縦、横ともに隙間なく敷き詰められる場合を調べる。 ②用語「公約数」「最大公約数」を知る。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・2つの数の公約数は、最大公約数の約数になっていることを理解し、2つの数の公約数を求めることができる。 上 p.106	1	①24と36の公約数の求め方を考える。 ②公約数は最大公約数の公約数になっていることに気づき、公約数の求め方に活用する。 ③3つの数の最大公約数を求める。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 上 p.107～109, 146 2 時間			
・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 上 p.107	1	[いかしてみよう] ①倍数を活用して新幹線の座席の座り方を考え、式に表す問題に取り組む。	[思判表]発言・記録
・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上 p.108～109	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・【発展】巻末 p.146 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み、学習内容を基に公倍数について見方や考え方を広げる。			

単元名	9. 分数と小数, 整数の関係を調べよう [分数と小数, 整数の関係]			教科書の ページ	上 p.110～119, 146
配当時数	6 時間	活動時期	10 月上旬～ 中旬	学習指導要 領の内容	A(4)ア(7)(イ), イ(イ)

単元の目標		整数の除法の結果を分数で表すこと及び分数と小数, 整数の関係について理解し, 分数の表現に着目してこれまで学習した分数の意味を捉えるとともに, 除法の結果を分数で表したり分数と小数, 整数の関係について考えたりした過程を振り返り, そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	整数の除法の結果は分数を用いると1つの数で表せることや, 分数と小数, 整数の関係を理解するとともに, $a \div b$ を a/b , a/b を $a \div b$ とみたり, 分数を小数で表したり, 小数, 整数を分数の形になおしたりすることができる。
	思考・判断・表現	分数の表現に着目し, 分数を整数の除法の結果として捉えたり, 分数と小数, 整数の関係を捉えたりするとともに, それらを分数や式を用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	整数の除法の結果を分数で表したり, 分数と小数, 整数の関係を考えたりした過程や結果を振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) わり算と分数 上 p.110～114 3 時間			
[プロローグ] 上 p.110	1	①p.110 を使って, 除法と小数, 分数の関係についての既習の内容を振り返り, 話し合うことを通して, 分数と小数, 整数の関係を調べるという単元の課題を設定する。 (所要時間は10分程度)	
・整数の除法の商は分数を用いて表せることを理解する。 上 p.111～112		①2Lのジュースを3等分すると1こ分は何Lになるか考える。 ② $2 \div 3$ の商を小数で表す。 ③整数の除法の商は分数で表すことができることをまとめる。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
・整数の除法の商を分数で表すことができる。 上 p.113	1	①適用問題に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・分数倍の意味について, 整数倍や小数倍の意味を基に図を活用して考え, 説明する。 上 p.114	1	①4m は, 5m の何倍にあたるか考える。 ②基準量, 比較量がどれかをとらえて立式し, 答えを求める。 ③倍を表す数に分数を使うことがあることをまとめる。 ④分数倍も「1とみたときに○にあたる」という倍の意味は同じであることをまとめ, 整数倍や小数倍の意味と統合的に捉える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(2) 分数と小数, 整数の関係 上 p.115～117 2 時間			
・整数の商を分数で表せることを活用して, 分数を小数で表す方法を考え, 説明する。 上 p.115～116	1	① $3 \div 5$ の商を分数と小数で表し, 0.6 と $\frac{3}{5}$ が等しいことを数直線で確かめる。 ② $\frac{3}{4}$, $\frac{2}{9}$ を小数で表す方法を考える。 ③ 分数を小数で表す方法をまとめる。 ④ 「ますりん通信」を読み, 分数について理解を深める。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録
・小数や整数を分数で表す方法を考え, 説明する。 上 p.117	1	① 0.3, 0.29, 1.57, 4, 12 を分数で表す方法を考える。 ② 小数を分数で表す方法をまとめる。 ③ 整数を分数で表す方法をまとめる。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録
まとめ 上 p.118～119, 146 1 時間			
・学習内容の定着を確認するとともに, 数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上 p.118～119	1	① 「たしかめよう」に取り組む。 ② 「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察
・【発展】巻末 p.146 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み, 学習内容を基に分数の形で表せる循環小数について理解を深める。			

単元名	考える力をのばそう「差や和に注目して」			教科書のページ	上 p.120～121
配当時数	2 時間	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	C(1)

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・変化する 2 つの数量とその和や差に着目し, 表に表すことを通して, 変化の規則を見だし問題を解決する能力を伸ばす。 上 p.120～121	2	① 問題場面を表に表しながら, 変化の仕方を考察する。 ② 変化の規則性に気づき, 問題を解決する。	[思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察

単元名	算数で読みとこう 「日本をおとずれる外国の人たち」			教科書のページ	上 p.122～123
配当時数	2 時間	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	D(1)

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・既習事項を活用してグラフを考察し, 問題解決能力や情報処理能力を伸ばす。 上 p.122～123	2	① 日本を訪れた外国人旅行者に関するグラフを見て, 目的に応じた必要な情報を活用して問題を解決する。	[思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	上 p.124
配当時数	—	活動時期	10 月中旬	学習指導要 領の内容	—

目標	時数	学習活動		評価の観点と方法	
・既習内容の理解を確認する。 上 p.124	—	①「おぼえているかな？」に取り組む。		[知技]発言・行動観察	

単元名	プログラミングを体験しよう！ 「倍数を求める手順を考えよう」			教科書の ページ	上 p.126
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要 領の内容	—

目標	時数	学習活動		評価の観点と方法	
・倍数を求めるためのプログラミングについて、倍数の性質を基に論理的に考え、説明することができる。 上 p.126	—	①「プログラミング」の意味を知る。 ②コンピューターを使って 3 の倍数を求める手順を考え、説明する。 *デジタルコンテンツ設定有		[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察	

単元名	かたちであそぼう「ブロック遊び」			教科書の ページ	上 p.127
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要 領の内容	—

目標	時数	学習活動		評価の観点と方法	
・ブロックを組み合わせて形を作る活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。 上 p.127	—	①ブロックを組み合わせて、六角形や大きな三角形、台形に敷き詰める。 *デジタルコンテンツ設定有		[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察	

単元名	10. 分数のたし算, ひき算を広げよう [分数のたし算とひき算]			教科書の ページ	下 p.2～18, 144
配当時数	10 時間	活動時期	10 月中旬～ 下旬	学習指導要 領の内容	A(4)ア(ウ)(エ), イ(ア) (5)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し, 通分, 約分の仕方や計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに, 通分, 約分の仕方や異分母の分数の加減計算の仕方を分数の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り, 今後の学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	分数の性質や通分, 約分の意味, 異分母の分数の加法及び減法の意味について理解するとともに, 通分や約分, 異分母の分数の加減計算ができる。
	思考・判断・表現	単位分数に着目して, 分数の相当及び大小関係や, 異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に 取り組む態度	通分や約分の意味や, 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を, 図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 学習したことを今後の学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 通分と分数のたし算, ひき算 [プロローグ] 下 p.2	1	①p.2 の考えなどを参考にし, 分数の既習事項についての話し合いを通して, 未習の分数のたし算, ひき算について考えるという単元全体の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・異分母の分数の加減計算について, 分母をそろえることの意味を考え, 説明する。 下 p.3～4	1	① $1/2 + 1/3$ の計算の仕方を考える。 ②数直線を使って, $1/2$, $1/3$ と大きさの等しい分数を見つける。 ③ $1/6$ をもとにして, 計算の仕方を考える。 ④異分母の分数の加減計算は, 分母をそろえると計算できることをまとめる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・分数の分母と分子に同じ数をかけても, 同じ数でわっても, 分数の大きさは変わらないことを見出し, 大きさの等しい分数のつくり方を説明することができる。 下 p.5～6	1	① $3/4$ と大きさの等しい分数を見て, 大きさの等しい分数のつくり方を考える。 ② $3/4 = 12/16$ であることを確かめる。 ③分数の性質として大きさの等しい分数のつくり方をまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・「通分」の意味について理解する。 下 p.7～9	1	① $3/5$ と $1/4$ の差を求める方法を考える。 ②用語「通分」を知る。 ③通分した分数を見て, 通分の仕方を考え, まとめる。 ④ $3/5$ と $1/4$ の差を求める。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
	1	① $1/2$ と $2/3$ と $1/4$ の通分の仕方を考える。 ②適用問題に取り組む。	

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(2) 約分と分数のたし算, ひき算 下 p.10～13 2 時間			
・「約分」の意味について理解する。 下 p.10～12	1	① $1/3+1/6$ の計算の仕方を考える。 ② $9/18$, $3/6$ と大きさの等しい分数で、分母がいちばん小さい分数を見つける。 ③用語「約分」を知り、方法をまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・異分母の分数の加減計算の仕方を振り返り、説明する。 下 p.13	1	① $1/6+3/8$ の計算の仕方を説明する。 ②通分してから計算すること、答えが約分できるときは約分することをおさえる。 ③計算練習をする。 *デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
(3) いろいろな分数のたし算, ひき算 下 p.14～15 2 時間			
・帯分数の加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。 下 p.14	1	①2 と $3/4-1$ と $2/3$ の計算の仕方を考える。 ②通分してから整数部分、分数部分どうしを計算する方法と、仮分数になおして通分して計算する方法があることをおさえる。 ③計算練習をする。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・分数と小数の加減混合計算について、数の表し方に着目して考え、説明することができる。 下 p.15	1	① $2/5+0.3$ の計算の仕方を考える。 ②小数を分数で表せばいつでも計算できることを理解する。 ③計算練習をする。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
(4) 時間と分数 下 p.16 1 時間			
・分数を用いた時間の表し方を理解する。 下 p.16	1	①45 分を時間の単位で表すことを考える。 ② $9/12$ 時間, $3/4$ 時間が $45/60$ 時間と等しいことを通分して確かめる。	[知技]発言・行動観察
まとめ 下 p.17～18, 144 1 時間			
・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下 p.17～18	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・【発展】巻末 p.144 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み、学習内容を基に、分数の加減計算についての理解を深める。			

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	下 p.19
配当時数	—	活動時期	10 月下旬	学習指導要 領の内容	—

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・既習内容の理解を確認する。 下 p.19	—	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]発言・行動観察

単元名	11. ならした大きさを考えよう [平均]			教科書のページ	下 p.20～27
配当時数	5 時間	活動時期	11 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	D(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法について図や式を用いて考える力を養うとともに、平均の意味や平均を求める方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。
	思考・判断・表現	概括的に捉えることに着目して、測定した結果を平均する方法を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	平均の意味や、測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 平均 下 p.20～25 3 時間			
[プロローグ] 下 p.20	1	①p.20 の 3 組の写真を見て、「ならす」ということの経験や意味についての話し合いを通して、ならした大きさを考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・「平均」の意味と求め方について理解する。 下 p.21～22		①5 個のオレンジから絞ったジュースの量から、1 個あたりにしぼれる量について考える。 ②棒グラフを使い、凸凹をならしてならした量を求める。 ③ならした量を計算で求める方法を考える。 ④用語「平均」を知り、求め方をまとめる。 ⑤平均を求める問題の解決を通して、平均の意味や求め方を確かめる。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
・平均から全体量を求める方法を、平均の意味や図を基にして考え、説明することができる。 下 p.23	1	①前時で求めた、1 個のオレンジからとれたジュースの平均の量から、20 個ではどれだけの量になるか考える。 ②平均を使って、全体量を予測する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・値に 0 がある場合の平均の求め方や、分離量でも平均値は小数で表す場合があることを理解する。 下 p.24～25	1	①サッカーの 1 試合当たりの平均得点について考える。 ②平均を求めるときは 0 を含めて考えることや、分離量であっても平均が小数になる場合があることが分かる。 ③「まずりん通信」を読み、仮平均について知る。	[知技]発言・行動観察

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
まとめ 下 p.26～27 2 時間			
単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 下 p.26	1	① [いかしてみよう] 自分の 1 歩の歩幅を，平均の考えを使って求め，それを使って実際にいろいろな距離や道のりを調べる。 ② 「ますりん通信」を読み，外れ値について知る。	[思判表] 発言・記録
学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下 p.27	1	① 「たしかめよう」に取り組む。	[知技] 発言・行動観察 [態度] 発言・行動観察

単元名	12. 比べ方を考えよう(1) [単位量あたりの大きさ]			教科書の ページ	下 p.28～42
配当時数	10 時間	活動時期	11 月中旬～ 下旬	学習指導要 領の内容	C(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		異種の 2 量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、単位量当たりの大きさを用いた比べ方や表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、単位量当たりの大きさの意味や表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	異種の 2 量の割合としてとらえられる数量について、速さや単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量当たりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。
	思考・判断・表現	異種の 2 量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	速さや単位量当たりの大きさの意味及び表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) こみぐあい 下 p.28～31 2 時間			
[プロローグ] 下 p.28	1	①p.28 のイラストを見て、㊦と㊧では本数が、㊨と㊩では面積がそろっているため値段や混み具合を比較できることを話し合い、単位量当たりの大きさの比べ方を考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・面積, 匹数が異なる場合の混み具合の比べ方を理解し, 比べることができる。 下 p.29～31		①面積とうさぎの数が違う 3 つの小屋の混み具合の比べ方を考える。 ②A と B, B と C を比べ, どちらかがそろっていると比べられることをおさえる。 ③A と C の比較を通して, 匹数か面積のどちらかをそろえればよいことを考える。 ④A と C の比べ方を, 数直線の図を使って確認する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
	1	①A, C, D の比較を行う。調べる数が多くても, 混み具合を一度に比べやすい方法を考える。 ②面積をそろえて 1m ² 当たりの匹数で比べたり, 匹数をそろえて 1 匹当たりの面積で比べたりすればよいことをまとめる。 ③前者の方が分かりやすいことをおさえる。	

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(2) いろいろな単位量あたりの大きさ 下 p.32～33 2 時間			
・「人口密度」の意味とその求め方を理解する。 下 p.32	1	①北海道と沖縄県の人口の混み具合を比べる。 ②「人口密度」を知り、人口密度を求める。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・単位量あたりの大きさを用いて、問題を解決できる。 下 p.33	1	①米のとれ具合を、単位量あたりの大きさを用いて調べる。	[知技]発言・行動観察
(3) 速さ 下 p.34～39 4 時間			
・速さは単位量あたりの大きさの考えを用いて表せることを図や式を用いて考え、説明する。 下 p.34～35	1	①p.34 を見て、速さを決めるために必要な量について考える。 ②走った距離、時間が異なる人の速さの比べ方を考える。 ③時間をそろえて1秒間当たりの距離で比べたり、距離をそろえて1m 当たりの時間で比べたりすればよいことを数直線の図を使って考え、まとめる。 ④混み具合と速さの比べ方や表し方について、単位量あたりの大きさを使っていることを統合的に捉える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・速さを求める公式を理解し、それを適用して速さを求めることができる。 ・時速、分速、秒速の意味を理解する。 下 p.36～37	1	①新幹線のはやぶさ号とかがやき号の速さを比べる。 ②速さを求める公式をまとめる。 ③「時速」「分速」「秒速」の意味を知り、公式を用いて速さを求める。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・道のりを求める公式を理解し、それを適用して道のりを求めることができる。 下 p.38	1	①ツバメの速さと時間から道のりの求め方を考える。 ②道のりを求める公式をまとめ、公式を用いて道のりを求める。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・速さと道のりから時間を求める方法について考え、説明する。 下 p.39	1	①台風の速さと道のりから時間の求め方を考える。 ②かかる時間を□時間として式に表し、時間を求める。 ③速さ、道のり、時間の関係を振り返り、それぞれの求め方を統合的にとらえる。 *デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 下 p.40～42 2 時間			
・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 下 p.40	1	[いかしてみよう] ①身の回りから単位量あたりの考えを使っている場面を探す。 ②雷の音が伝わる速さについての問題を、単位量あたりの考えを活用して解決する。	[思判表]発言・記録
・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下 p.41～42	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	下 p.43
配当時数	—	活動時期	11 月下旬	学習指導要 領の内容	—

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・既習内容の理解を確認する。 下 p.43	—	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]発言・行動観察

単元名	13. 面積の求め方を考えよう [四角形と三角形の面積]			教科書の ページ	下 p.44～64, 145～146
配当時数	11 時間	活動時期	12 月上旬～ 中旬	学習指導要 領の内容	B(3)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		四角形や三角形の面積の求め方を理解し，図形の構成要素に着目して面積の求め方を数学的表現を用いて考える力を養うとともに，四角形や三角形の面積の求め方を考えた過程を振り返り，多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	平行四辺形，三角形，台形，ひし形などの面積の求め方を理解し，公式を用いて面積を求めることができる。
	思考・判断・表現	平行四辺形，三角形，台形，ひし形などの構成要素や性質に着目し，既習の面積の求め方を基にして，図や式を用いて面積の求め方を考え，表現している。
	主体的に学習に 取り組む態度	平行四辺形，三角形，台形，ひし形などの面積を，図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 平行四辺形の面積の求め方 下 p.44～50 3 時間			
[プロローグ] 下 p.44	1	①p.44 のいろいろな図形を提示し，図形についての既習事項，未習事項を話し合うことを通して，面積の求め方を考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・平行四辺形の性質に着目し，面積の求め方を考え，説明することができる。 下 p.45～46		①求積方法が既習の図形を想起し，平行四辺形の面積の求め方を既習の図形に帰着して考える。 ②長方形に等積変形する平行四辺形の面積の求め方を説明し，まとめる。 *デジタルコンテンツ設定有	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・平行四辺形の性質に着目し，面積を求める公式を考え，説明することができる。 下 p.47～48	1	①平行四辺形の面積を求める公式を考える。 ②公式をつくるには，等積変形した長方形のどこの長さが分かればよいかを考える。 ③平行四辺形の「底辺」「高さ」の意味を知り，底辺をどこにするかで高さが決まることをおさえる。 ④平行四辺形の面積を求める公式をまとめ，公式を適用して面積を求める。	[思判表]発言・記録 [知技]発言・行動観察

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
- 平行四辺形の高さに着目し、外にある場合と内にある場合を高さとして統合的にとらえる。 - どんな形の平行四辺形でも、底辺の長さと高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。 下 p.48～50	1	①高さが平行四辺形の外にある場合の面積の求め方を考える。 ②平行四辺形の向かい合う辺が平行であることから、平行四辺形の高さは、底辺をのばした直線と底辺と向かい合った辺をのばした直線の幅と考えることができることをまとめる。 ③平行な2直線上にある平行四辺形の面積を求め、面積が等しいことをおさえる。	[思判表]発言・記録 [知技]発言・行動観察
(2) 三角形の面積の求め方 下 p.51～56 3時間			
三角形の性質に着目し、面積の求め方を考え、説明することができる。 下 p.51～52	1	①求積方法が既習の図形を想起し、三角形の面積の求め方を既習の図形に帰着して考える。 ②平行四辺形や長方形に倍積変形する三角形の面積の求め方を説明し、まとめる。 *デジタルコンテンツ設定有	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
三角形の性質に着目し、面積を求める公式を考え、説明することができる。 下 p.53～54	1	①三角形の面積を求める公式を考える。 ②公式をつくるには、倍積変形した平行四辺形のどこの長さが分かればよいか考える。 ③三角形の「底辺」「高さ」の意味を知り、底辺をどこにするかで高さが決まることをおさえる。 ④三角形の面積を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。	[思判表]発言・記録 [知技]発言・行動観察
- 三角形の高さに着目し、外にある場合と内にある場合を高さとして統合的にとらえる。 - どんな形の三角形でも、底辺の長さと高さが等しければ、面積は等しくなることを理解する。 下 p.54～56	1	①高さが三角形の外にある場合の面積の求め方を考える。 ②平行四辺形の高さの学習を想起し、三角形の高さは、底辺をのばした直線と底辺と向かい合った頂点を通り、底辺に平行な直線の幅と考えることができることをまとめる。 ③平行な2直線上にある三角形の面積を求め、面積が等しいことをおさえる。	[思判表]発言・記録 [知技]発言・行動観察
(3) いろいろな四角形の面積の求め方 下 p.57～61 3時間			
台形の性質に着目し、面積の求め方を考え、説明することができる。 下 p.57～58	1	①求積方法が既習の図形を想起し、台形の面積の求め方を既習の図形に帰着して考える。 ②平行四辺形や三角形に変形する台形の面積の求め方を説明し、まとめる。 ③求積方法が分かっている図形に帰着して考えることを介して、平行四辺形、三角形の面積の求め方の学習と本時の学習を統合的にとらえる。 *デジタルコンテンツ設定有	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
台形の性質に着目し、面積を求める公式を考え、説明することができる。 下 p.58～59	1	①台形の面積を求める公式を考える。 ②公式をつくるには、倍積変形した平行四辺形のどこの長さが分かればよいか考える。 ③台形の「上底」「下底」「高さ」の意味を知る。 ④台形の面積を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。	[思判表]発言・記録 [知技]発言・行動観察
- ひし形の性質に着目し、面積を求める公式を考え、説明することができる。 - たこ形の性質に着目し、たこ形の求積方法をひし形の求積公式を活用して考え、説明することができる。 下 p.60～61	1	①求積方法が既習の面積の求め方を用いて、ひし形の面積の求め方を考える。 ②対角線の長さの積がひし形の面積の2倍になっていることを利用して、ひし形の面積を求める公式を考える。 ③ひし形の面積を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。 ④ひし形の求積公式を活用して、たこ形の面積の求め方を考える。	[思判表]発言・記録
(4) 三角形の高さと面積の関係 下 p.62 1 時間			
三角形の底辺の長さを一定にして高さを変えたとき、面積は高さに比例することを理解する。 下 p.62	1	①三角形の高さを□cm、面積を○cm ² として面積を求める式を考える。 ②底辺の長さが4cmの三角形で、高さが1cm, 2cm, …, 8cmと変化するときの面積の大きさを調べ、面積は高さに比例していることをおさえる。	[知技]発言・行動観察
まとめ 下 p.63～64, 145～146 1 時間			
学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下 p.63～64	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
【発展】巻末 p.145～146 の「おもしろ問題にチャレンジ！」に取り組む、学習内容を基に求積公式から図形どうしの関係を考える。			

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	下 p.65
配当時数	—	活動時期	12 月中旬	学習指導要領の内容	—

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
既習内容の理解を確認する。 下 p.65	—	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]発言・行動観察

単元名	14. 比べ方を考えよう(2) [割合]			教科書のページ	下 p.66～82
配当時数	9 時間	活動時期	1 月中旬～下旬	学習指導要領の内容	C(3)ア(7)(イ), イ(7)内容の取扱い(4)

単元の目標		2 つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、その表し方についての百分率を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	2 つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。
	思考・判断・表現	2 つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	2 つの数量の割合の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 割合 下 p.66～73 3 時間			
[プロローグ] 下 p.66～67	1	①p.66 のシュートの記録を見て、入った数とシュートした数の一方が同じであれば比べられることや、半分より入っている（入っていない）という見方について話し合い、2 つの数量の割合の比べ方を考えるという単元の課題を設定する。	
・ 倍の意味を基にして、割合を用いた 2 つの数量の割合の比べ方を図や式を用いて考え説明することができる。 下 p.68～71	1	①4 人のシュートの記録の比べ方を考える。 ②4 人のシュートの入った割合を求める。 ③割合を求める式をまとめる。 ④1 を超える割合について考える。 ⑤「ますりん通信」を読んで、割合を使った数量の割合の比べ方の理解を深める。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・ 百分率や歩合の意味とその表し方を理解する。 下 p.72～73	1	①5 年生の人数を基にした、サッカークラブに入っている人の割合を求める。 ②「パーセント (%)」「百分率」を知り、割合を百分率で表す。 ③「ますりん通信」を読んで、「歩合」の意味と、「割」「分」「厘」が日常生活のなかで用いられていることを知る。	[知技]発言・行動観察
(2) 百分率の問題 下 p.74～77 2 時間			
・ 比較量は、基準量×割合で求められることを理解する。 下 p.74～75	1	①果汁 20%の 280mL の飲み物に含まれている、果汁の量の求め方を考える。 ②比較量を求める式をまとめる。 ③割合を求める式と比較量を求める式を比べ、各量の関係を確認する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・基準量は、比較量÷割合で求められることを理解する。 下 p.76～77	1	①増量後のお茶の量 600mL が増量前のお茶の量の 120%にあたる時、増量前のお茶の量の求め方を考える。 ②基準量を求める式をまとめる。 *デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
(3) 練習 下 p.78 1 時間			
・学習内容を適用して問題を解決する。 下 p.78	1	①「練習」に取り組む。	[知技]発言・行動観察
(4) わりびき、わりましの問題 下 p.79 1 時間			
・和や差を含んだ割合の場合について、比較量や基準量を求めることができる。 下 p.79	1	①250 円のフェルトペンを 30%びきで買うときの、代金の求め方を考える。 ②600 円の筆箱に利益を 30%加えたときの売る値段の求め方を考える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 下 p.80～82 2 時間			
・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 下 p.80	1	[いかしてみよう] ①割引に関する問題を解決する。	[思判表]発言・記録
・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下 p.81～82	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

単元名	おぼえているかな？		教科書のページ	下 p.83
配当時数	—	活動時期	1 月下旬	学習指導要領の内容

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・既習内容の理解を確認する。 下 p.83	—	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]発言・行動観察

単元名	15. 割合をグラフに表して調べよう [帯グラフと円グラフ]			教科書の ページ	下 p.84～94
配当時数	8 時間	活動時期	1 月下旬～ 2 月上旬	学習指導要 領の内容	D(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(5)

単元の目標		円グラフや帯グラフの特徴とそれらの使い方や、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察する力を養うとともに、統計的な問題解決の方法について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの使い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をすることができる。
	思考・判断・表現	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。
	主体的に学習に取り組む態度	統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 帯グラフと円グラフ 下 p.84～91 5 時間		★他教科との関連: 英語	
[プロローグ] 下 p.84～85	1	①p.84～85 の場面を提示し、リクエスト給食のメニューを決めるために、学校全体の好きな給食のメニューを調べるという問題を設定する。学校全体のデータを表した表や棒グラフを読み取り、好きな給食のメニューについての話し合いを通して、割合をグラフに表して判断するという単元の課題を設定する。	
・帯グラフや円グラフの読み方や特徴を理解する。 下 p.85～87	1	①好きな給食のメニューの全体の人数に対する、メニュー別の人数の割合はどのようなグラフに表せばよいかを考える。 ②「帯グラフ」「円グラフ」を知る。 ③好きな給食のメニューの、帯グラフ、円グラフを読む。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
・帯グラフや円グラフのかき方を理解する。 下 p.87～89	1	①学年ごとの、好きな給食のメニューの割合を百分率で求めて、それを帯グラフと円グラフに表す。 ②学年ごとの帯グラフと円グラフを見て、どんなメニューを選べばよいか判断し、話し合う。 *デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・複数のグラフから、割合や絶対量を読み取り、データの特徴や傾向について説明することができる。 下 p.90	1	①20 年前と今の好きな給食のメニューの、割合や絶対量を読み取り、問題を解決する。	[思判表]発言・記録

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
これまでの学習を振り返り、統計的な問題解決の方法を理解する。 下 p.91	1	①前時までの学習と関連させながら、統計的な問題解決の方法について振り返り、まとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 下 p.92～94 3 時間			
単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 下 p.92	2	[いかしてみよう] ①身の回りの事象について、興味・関心や問題意識に基づき統計的に解決可能な問題を自分たちで設定し、統計的な問題解決の方法を活用して、問題解決する。	[思判表]発言・記録
学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下 p.93～94	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 *デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

単元名	16. 変わり方を調べよう(2) [変わり方調べ]			教科書のページ	下 p.95～99
配当時数	1 時間	活動時期	2 月上旬	学習指導要領の内容	A(6)ア(7), イ(7)

単元の目標		伴って変わる 2 つの数量について、表や式、図を用いて変化や対応の特徴を調べたり表したりすることができるようにするとともに、伴って変わる 2 つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式、図を用いて変化や対応の特徴について考える力を養うとともに、伴って変わる 2 つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	伴って変わる 2 つの数量について、表や式、図を用いて変化や対応の特徴を調べ、式に表すことができる。
	思考・判断・表現	伴って変わる 2 つの数量の関係に着目し、表や式、図を用いてその関係を説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	伴って変わる 2 つの数量の関係について、表や式、図を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 変わり方調べ 下 p.95～99 1 時間			
[今日の深い学び] ・ 伴って変わる 2 つの数量の関係を表や図、式に表して、問題解決の方法を説明することができる。 下 p.95～99	1	①4 本の棒で正方形を作り、それを横に並べていく。正方形を 30 個作るとき、棒は何本いるか考える。 ②図や表をかいて、2 つの数量の規則性を見つける。 ③規則性を表した式の数値の意味を考える。 ④見つけたきまりを使って、正方形の数が 50 個のときの棒の数を計算で求める。 ⑤正方形の数を□個、棒の数を○本として、その関係を式に表す。 ⑥図や表を使って、2 つの数量の関係をみいだすことのよさを確認する。 * デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

単元名	17. 多角形と円をくわしく調べよう [正多角形と円周の長さ]			教科書の ページ	下 p.100～113
配当時間	9 時間	活動時期	2 月中旬～下旬	学習指導要 領の内容	B(1)ア(ウ)(エ), イ(ア) 内容の取扱い(3)

単元の目標		正多角形の性質や円周率の意味について理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えたり図形の性質を見いだしたりする力を養うとともに、円と関連させて正多角形の性質を捉えたり、円周率について帰納的に考察したりした過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	正多角形の性質や円周率の意味を理解し、円を使って正多角形をかいたり、円周率を使って直径や円周の長さを求めたりすることができる。
	思考・判断・表現	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、正多角形の性質を見いだしたり、円を使った正多角形のかき方を考えたり、円周率が一定であることを捉えたりして、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	円と関連させて正多角形の性質やかき方を考えたり、円周率について帰納的に考えたりした過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 正多角形 下 p.100～104 3 時間			
[プロローグ] 下 p.100	1	①p.100 の写真を示し、真上から見た傘は正多角形の形であり、辺の数が増えると正多角形が円に近づいていく様子をとらえ、話し合いを通して、多角形と円について調べるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
・「正多角形」の意味や性質を理解する。 下 p.101～102		①円をかいた折り紙を 3 回折り、弦で切って広げるとどんな形になるかを考える。 ②正八角形や正五角形、正六角形の辺の長さや角の大きさを比べる。 ③正多角形の意味や性質を知る。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
・円と関連させて正多角形の性質の理解を深め、円の中心の周りの角を等分して正多角形をかく方法を理解する。 下 p.103	1	①円を使って正八角形をかく方法を考える。 ②円の中心の周りを等分する方法で、正五角形や正六角形をかく。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・図形の構成要素に着目して、円を使って正六角形がかけられる理由を考え、説明することができる。 下 p.104	1	①円の周りを半径の長さで区切って正六角形をかく。 ②6 つの合同な正三角形を手がかりに、正六角形がかけるわけを考える。 * プログラミング体験ページ設定有 (p.134)	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(2) 円のまわりの長さ 下 p.105～110 4 時間			
・「円周」について知り、正多角形の性質に着目して、円周は直径の3倍以上4倍以下であることを考え、説明することができる。 下 p.105～106	1	①円に接する正多角形の周りの長さを確認し、円の直径と円周の関係について考える。 ②「円周」の意味を知る。 ③正多角形の性質を使って、円周の長さは直径のおよそ何倍か調べる。 *デジタルコンテンツ設定有	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・円の形をしたいろいろなものの直径と円周の長さの関係を調べることができる。 ・円周率の意味や求め方を理解し、円周の長さを求めることができる。 下 p.107～109	1	①円の形をしたいろいろなものの円周と直径の長さを調べて表にまとめる。 ②調べた結果から、円周の長さと直径の長さのきまりについて考える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
	1	①「円周率」の意味を知り、その求め方をまとめる。 ②「ますりん通信」を読み、円周率についての歴史に関心をもつ。	
・円の直径の長さと円周の長さの関係に着目して、円周の長さは直径の長さに比例していることを表を使って見だし、説明することができる。 下 p.110	1	①直径を□、円周を○として、円周を求める式を書き、表にまとめる。 ②円の直径の長さが変わるにつれて、円周の長さはどのように変わるか調べ、円周の長さは直径の長さに比例していることをおさえる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 下 p.111～113 2 時間			
・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 下 p.111	1	[いかしてみよう] ①円と円周についての問題を解決する。	[思判表]発言・記録
・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下 p.112～113	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

単元名	18. 立体をくわしく調べよう [角柱と円柱]			教科書のページ	下 p.114～123, 147
配当時数	7 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要領の内容	B(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		角柱, 円柱の意味や性質について理解し, 図形を構成する要素に着目して図形の性質を見いだしたり図形の展開図のかき方について考えたりする力を養うとともに, 図形を角柱, 円柱として考察した過程を振り返り, 既習の図形を角柱として捉え直したり, 今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	角柱, 円柱の意味や性質について理解し, 角柱, 円柱の展開図をかいて構成することができる。
	思考・判断・表現	図形を構成する要素に着目し, 角柱, 円柱の構成要素やそれらの位置関係の性質を見だし, その性質を基に既習の図形を捉え直し, 説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	既習の図形を角柱として捉え直したり, 角柱, 円柱の性質を考察したりした過程や結果を振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 角柱と円柱 下 p.114～119 4 時間			
[プロローグ] 下 p.114	1	①p.114 の写真を基に, 手で触りながら積み木を選ぶゲームを行うことを通して, 箱の中に入れた三角柱を探し出すにはどんな特徴に着目すればよいかを話し合い, 角柱, 円柱の特徴を調べるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 15 分程度)	
・角柱について, 底面の位置関係や底面, 側面の形, 底面, 側面, 辺の数を調べることを通して, その意味や性質を理解する。 下 p.115～117	1	①p.115 の立体を角柱と円柱に仲間分けして, 角柱の特徴を調べる観点をとらえる。 ②構成要素に着目して角柱の特徴を調べる。 ③「角柱」「底面」「側面」を知る。 ④用語「三角柱」「四角柱」などを知る。 ⑤既習の図形の見方と関連づけながら, 角柱の性質をまとめる。 *デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・円柱について, 底面の位置関係や底面, 側面の形を調べることを通して, その意味や性質を理解する。 下 p.118	1	①角柱の側面, 頂点, 辺の数を調べる。 ①円柱の底面や側面の形状を調べる。 ②「円柱」を知る。 ③角柱の性質と関連づけながら, 円柱の性質をまとめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・角柱や円柱についての理解を深める。 下 p.119	1	①身の回りの角柱, 円柱の形をしたものを探す。 ②角柱, 円柱の見取り図をかく。	[知技]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(2) 角柱と円柱の展開図 下 p.120～121 2 時間			
・図形の構成要素に着目して、角柱の展開図のかき方や読み取り方を考え、説明することができる。 下 p.120	1	①三角柱の見取り図を基に、展開図について考える。 ②三角柱の展開図をかき、実際に組み立てて確かめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
・図形の構成要素に着目して、円柱の展開図のかき方や読み取り方を考え、説明することができる。 下 p.121	1	①円柱の見取り図を基に、展開図について考える。 ②側面の長方形の横の長さは、底面の円の円周と等しくなることをおさえる。 ③円柱の展開図をかき、実際に組み立てて確かめる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
まとめ 下 p.122～123, 147 1 時間			
・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下 p.122～123	1	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
・【発展】巻末 p.147 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組み、学習内容を基に円柱についての理解を深める。			

単元名	考える力をのばそう 「もとにする大きさに注目して」			教科書の ページ	下 p.124～125
配当時数	2 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要 領の内容	C(3)

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
・2つの数量の関係について、基準量に着目し、図を用いて考えることを通して、問題を解決する能力を高める。 下 p.124～125	1	①15%増量したシャンプーについて、増量後の量が 460mL のとき、増量前のシャンプーの量の求め方を考える。 ②基準量を□mL とし、量の関係を図に表して考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
	1	①20%軽量化されたノートについて、軽量化後の重さが 96g のとき、軽量化前のノートの重さの求め方を考える。 ②量の関係を図に表して、求め方を考える。	

単元名	算数で読みとこう 「国土をくわしく調べよう」			教科書の ページ	下 p.126～127
配当時数	2 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要 領の内容	D(1)

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
既習事項を活用してグラフや表を考察し，問題解決能力や情報処理能力を伸ばす。 下 p.126～127	1	①日本の森林についての表を見て，目的に応じた必要な情報を用いて問題を解決する。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
	1	①日本全体や都道府県ごとの国土の利用の様子を表したデータを見て，情報を読み取り問題を解決したり，話し合ったりする。	

単元名	5 年のふくしゅう			教科書の ページ	下 p.128～132
配当時数	5 時間	活動時期	3 月中旬	学習指導要 領の内容	A～D

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
既習内容の理解を確認する。 下 p.128～132	5	①問題を解決する。	[知技]発言・行動観察

単元名	プログラミングを体験しよう！ 「正多角形をかく手順を考えよう」			教科書の ページ	下 p.134
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要 領の内容	—

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
正多角形をかくためのプログラミングについて，正多角形の性質を基に論理的に考え，説明することができる。 下 p.134	—	①コンピューターを使って正多角形をかく手順を考え，説明する。 ＊デジタルコンテンツ設定有	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

単元名	かたちであそぼう「しきつめもよう」			教科書の ページ	下 p.135
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要 領の内容	—

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
基本図形の敷き詰めを通して、図形に親しみ、その美しさを感得する。 下 p.135	—	①平行四辺形の一部を変形していった、 おもしろい敷き詰め模様を作る。 *デジタルコンテンツ設定有	[態度]発言・行動観察